

TEAC

取扱説明書

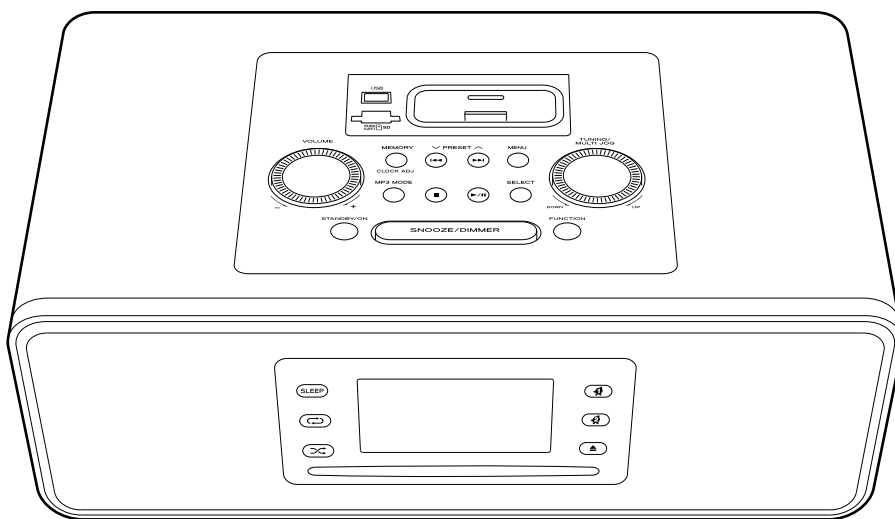
SR-3

iPod/iPhone対応CD/ハイファイラジオ

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目次

安全にお使いいただくために.....	3
お使いになる前に.....	6
コンパクトディスクについて.....	6
MP3/WMAについて.....	8
リモコンの使い方.....	8
本機でiPod/iPhoneを使うには(必ずお読みください)...	9
接 続.....	10
各部の名称(本体).....	12
各部の名称(リモコン).....	13
現在時刻の設定.....	14
基本操作.....	15
CDを聴くには.....	16
USBメモリー/SDカードを再生するには.....	18
その他の基本再生(CD/USB/SD).....	19
リピート再生(CD/USB/SD).....	20
シャッフル再生(CD/USB/SD).....	21
プログラム再生(CD/USB/SD).....	21
iPod/iPhoneを聴くには.....	24
接続した機器の音を聴くには.....	26
FMラジオを聴くには.....	27
放送局のプリセット.....	28
目覚ましタイマー.....	29
スリープタイマー.....	32
困ったときは.....	32
仕 様.....	34
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	35
保 証 書.....	裏表紙

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPhone is a trademark of Apple Inc.

“Made for iPod” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.






“Works with iPhone” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPhone and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.





SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。





 警告		以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜く	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。	
	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。	
 禁止	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。	
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。	
	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。	
 分解禁止	この機器のキャビネットは絶対に外さない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。	
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。	
 強制	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 機器のまわりにすきまがないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。	

安全にお使いいただくために(続き)

 注意 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
 強制	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p> <p>それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源を入れる前には音量を最小にする。</p> <p>突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。</p> <p>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。</p> <p>火災・感電やけがの原因となることがあります。</p>
	<p>この機器の付属の電源コードセットを他の機器に使用しない。</p> <p>故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードを熱器具に近付けない。</p> <p>コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。</p>
	<p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意 電池に関する注意	
 強制	<p>電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。</p> <p>間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
	<p>長時間使用しないときは電池を取り出しておく。</p> <p>液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。</p>
 禁止	<p>指定以外の電池は使用しない。</p> <p>破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
 分解禁止	<p>金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。</p> <p>ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。</p>
	<p>分解しない。</p> <p>電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。</p>



愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。

内部にほこりがたまっただま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。

費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

- リモコン(RC-1253)×1
- リモコン用リチウム電池(CR2025)×1
- 本体バックアップ用リチウム電池(CR2032)×1
- ACアダプター (PS-M0930)×1
- ステレオミニプラグケーブル×1
- ミニプラグ⇄ピンプラグビデオケーブル×1
- FMアンテナ×1
- ドックアダプター×4
- 取扱説明書(保証書付き)(本書)×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機を十分にテレビから離してお使いください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。
- 温度が異常に高いまたは低いところで使用した場合、本機のタッチボタンの感度に影響を及ぼすことがあります。

コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクが再生できます。

- 「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD(12cm)



- 正しい方法でファイナライズされたCD-RおよびCD-RW

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- 8cmシングルCDは再生できません。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

ディスクの取扱い

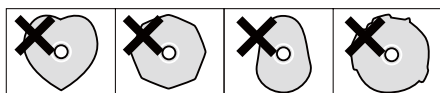
- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



持ち方

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

MP3/WMAについて

本機は、CD-R/CD-RWディスク、SDカード、USBフラッシュメモリーに記録されたMP3ファイルやWMAファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3ファイルまたはWMAファイルを作成する際は、使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

- 本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。
- MP3/WMAファイルの認識はファイル拡張子(MP3の場合は「.mp3」、WMAの場合「.wma」)で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3またはWMAデータ形式でないファイルは再生できません。
- 本機で再生できるMP3ファイルは、モノラルまたはステレオのMPEG-1 Audio Layer 3フォーマットで、サンプリングレートが44.1または48 kHz、ビットレートが320 kbps以下のファイルとなります。
- 本機で再生できるWMAファイルは、サンプリングレートが44.1kHz、ビットレートが192kbps以下のファイルとなります。
- 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。
- ファイル数が200、フォルダ数が50以上記録されているディスクやUSBメモリー/SDカードは正しく再生されないことがあります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。MP3/WMAファイルを記録した機器でファイナライズしておいてください。
- ISO9660規格で記録されていないディスクは再生できません。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかつたり、音が途切れることがあります。

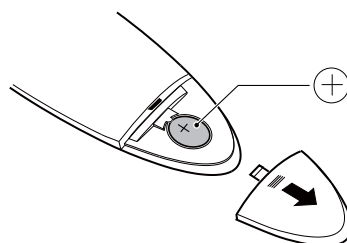
リモコンの使い方

使用上の注意

- ⚠ 電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、⊕表示を上にしてコイン型リチウム電池(CR2025)を入れて、フタを閉めてください。



⚠ 電池についての注意

小さなお子様が悪く電池を飲み込むと大変危険です。電池は幼児の手の届かない場所に置いてください。万一、お子様が電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなつたり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

本機でiPod/iPhoneを使うには(必ずお読みください)

本機でiPod/iPhoneを再生するには、まず始めにお使いのiPod/iPhoneに合ったドックアダプターをセットしてください。

1 お使いのiPod/iPhoneに合ったドックアダプターを選ぶ。

iPhone(3G)

iPhone 3G/3GS 用

iPod Touch

iPod Touch第1世代 用

5G iPod with Video(30G)

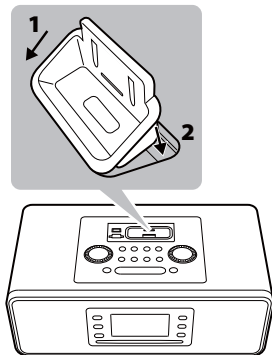
ビデオ機能を搭載したiPod(30GB)、
iPod Classic(80GB/120GB) 用

60GB (color) + Photo 40GB/60GB

クイックホイールを装備したiPod(40GB)、
カラーディスプレイを搭載したiPod(40GB/60GB)、
ビデオ機能を搭載したiPod(60GB/80GB)、
iPod Classic(160GB) 用

- その他のiPod/iPhoneについては、iPod/iPhoneに付属のアダプターまたは市販のアダプターをお使いください。

2 ドックアダプターを本機のドックに取り付ける。



ドックアダプターの前面を取付用の穴に合わせて差し込み、アダプターの後方を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- ドックアダプターを外す場合は、左右をつかみゆっくと引き抜いてください。

iPod/iPhone用ソフトウェア

お使いのiPod/iPhoneが本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

<http://www.apple.com/jp/downloads/>

本機で使用できるiPod/iPhone

本機で使用できるiPod/iPhoneについては、下記の弊社ホームページのiPod/iPhone対応表をご覧ください。

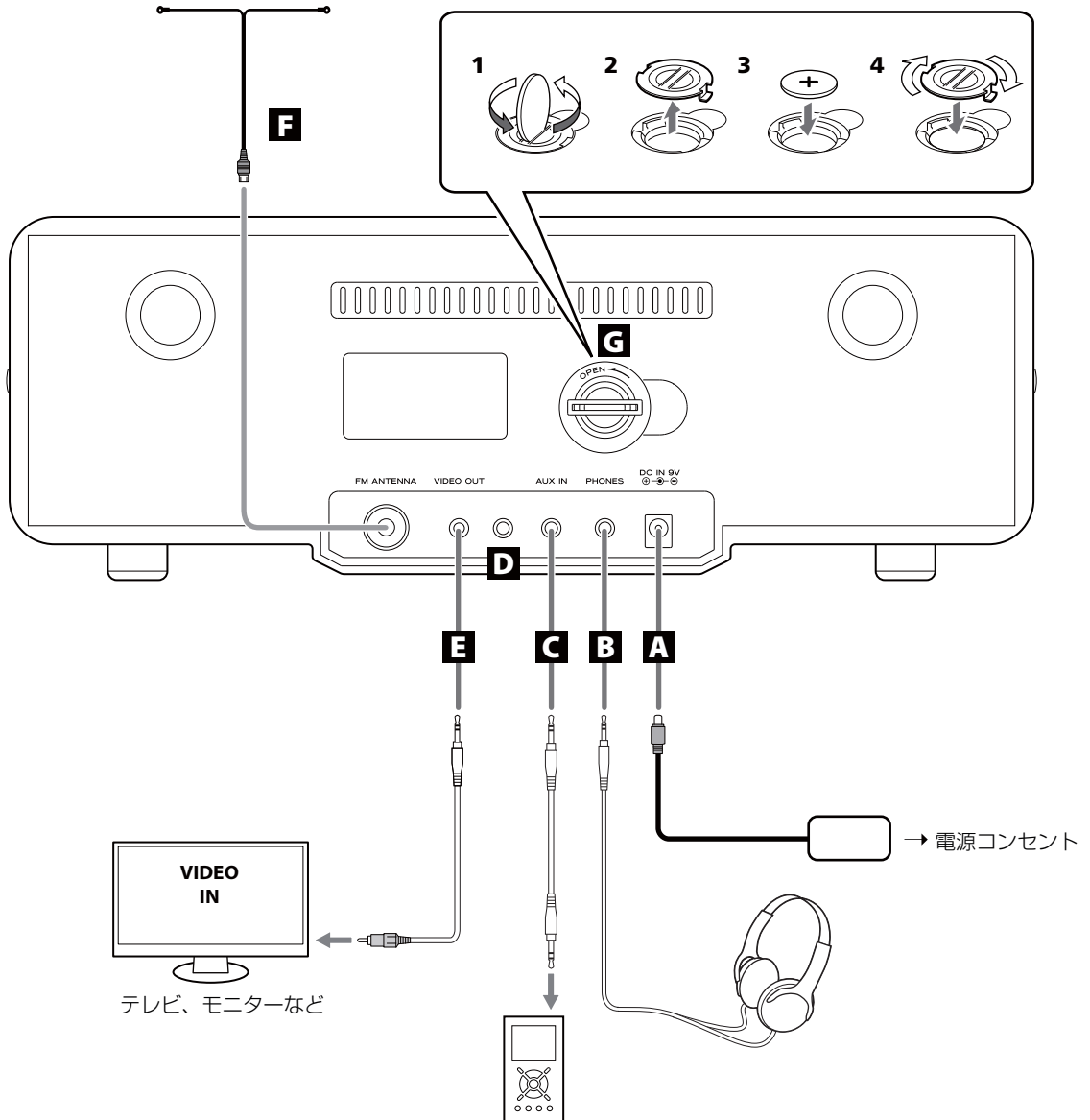
http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

接 続

⚠ 接続時の注意

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

※電池の取り付けは、ACアダプターを接続した状態で行ってください。



A DC入力端子 [DC IN 9V]

付属のACアダプターのコードを接続し、ACアダプター本体を交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントからACアダプターを抜いておいてください。

⚠ 注意

交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

B ヘッドホン端子 [PHONES]

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を調節してください。ヘッドホン端子の使用中は、スピーカーからは音が出ません。

⚠ 注意

ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフ、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。ヘッドホンから大きな音が発生することがあります。

C 音声入力端子[AUX IN]

携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と接続して、本機で音声を再生します。

D 強制イジェクトスイッチ

このスイッチを押すと、ディスクを取り出せなくなった場合に以下の方法で取り出すことができます。

1. 電源がオンのときに、強制イジェクトスイッチをとがったペンなどの先で押す。
 2. ディスクを取り出す。
 3. ACアダプターを電源コンセントから抜き、再び接続する。
- ディスプレーに「ERROR」と表示されている場合はACアダプターを一旦電源コンセントから抜き、再び接続してください。
 - スタンバイ(オフ)のとき、またはACアダプターが外れている場合、強制イジェクトスイッチは動作しません。

E 映像出力端子[VIDEO OUT]

iPod/iPhoneの映像信号を出力します。付属のビデオケーブルを使って、テレビやモニターの映像入力端子と接続してください。

iPod/iPhoneのビデオ出力について

本機のドックからiPod/iPhoneのビデオを出力するには、接続するiPod/iPhoneのメニューで以下の設定を行ってください。

「ビデオ」 - 「ビデオ設定」 - 「TV出力」で「オン」または「確認」を選んでください。

iPod touch*やiPhoneにはこのメニューがありません。再生のたびにビデオ出力するかどうかを選んでください。

- * iPod touch第1世代: ソフトウェアバージョン2.2以降

- 「確認」を選んだ場合は、再生のたびにビデオ出力するかどうかを選びます。
- iPod/iPhoneからビデオ出力すると、iPod/iPhoneの液晶画面ではビデオを再生しません。

F FMアンテナ

付属のFMアンテナをFMアンテナジャックに差し込みます。FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置に画紙やテープなどで固定してください。

- アンテナは束ねないでください。

G 電池ケース

停電などでACコンセントからの電源が供給されない場合、この電池が、時計、タイマー、放送局のプリセットメモリーなどに電源を供給します。

電池の入れかた

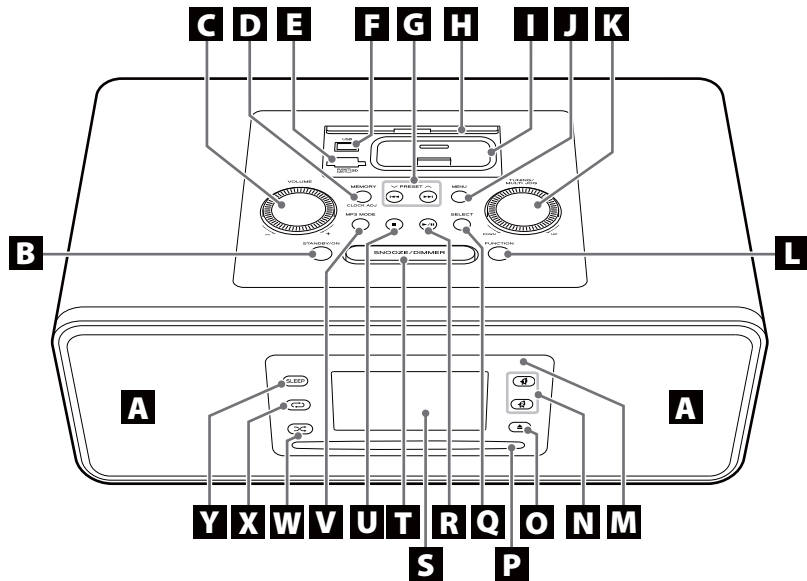
- 1 コインなどでフタをゆるめる。
- 2 フタを取り外す。
- 3 +表示をフタ側にしてコイン型リチウム電池(CR2032)を入れる。
- 4 フタを閉める。

※ 電池の取り付けは、ACアダプターを接続した状態で行ってください。

電池の交換時期

ACアダプターを外した後や停電の後に、時計が正しく表示されなくなった場合は、新しい電池に交換してください。

各部の名称(本体)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

A スピーカー (ステレオ)

B 電源ボタン [⏻/STANDBY/ON]

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。
スタンバイ(オフ)のときは、「⏻」が点灯します。

C 音量つまみ [VOLUME]

音量を調節します。

D メモリー /時刻合わせボタン [MEMORY/CLOCK ADJ]

チューナーモードのときは、放送局のプリセットに使います。

CDまたはUSB/SDモードのときは、プログラム設定に使います。

スタンバイ(オフ)のときは、時刻設定に使います。

E SDカードスロット

SDカードを差し込みます。
使用しないときは端子カバーを閉めてください。

F USB端子

MP3/WMAファイルが記録されたUSBフラッシュメモリーを接続することができます。iPodシャッフルはこの端子では使用できません。
使用しないときは端子カバーを閉めてください。

G スキップ/サーチボタン [⏮/⏭]/プリセットボタン [^/∨]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、前または後ろの曲にスキップします。

再生中にタッチしたままですと、早送り/早戻しができます。

ラジオモードのとき、プリセットされた放送局を選択します。

H 端子カバー

I iPod/iPhoneドック

お使いのiPod/iPhoneに合ったドックアダプターをセットし、iPod/iPhoneを差し込んでご使用ください。使用しないときは端子カバーを閉めてください。

J メニューボタン [MENU]

iPodモードのとき、このボタンにタッチするとひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

K 選局/設定つまみ [TUNING/MULTI JOG]

ラジオ受信中に、選局に使用します。
また、設定項目を選択するときに使用します。

L 機能切換ボタン [FUNCTION]

このボタンを押すたびに聴きたいソースのモードが切り換わります。

各部の名称(リモコン)

M リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

N アラームボタン [AL1, AL2]

このボタンを3秒以上タッチし続けると、目覚ましタイマーの設定モードになります。また、目覚ましタイマーのオン/オフの切り換えに使用します。

O 取り出しボタン [▲]

ディスクを取り出します。

P ディスク挿入口

Q セレクトボタン [SELECT]

iPodモードで、iPodのクリックホイール中央のボタンと同じように、メニューの選択の確認に使用します。また各種設定のとき、メニューの選択の確認に使用します。

R 再生/一時停止ボタン [▶/⏸]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、再生/一時停止に使用します。

S ディスプレー

T スヌーズ/ディマーボタン [SNOOZE/DIMMER]

目覚ましタイマーがオンになったときにこのボタンを押すと、電源を6分間スタンバイ(オフ)状態にできます。また、ディスプレイの明るさを調節します。

U 停止ボタン [■]

CD/USB/SDモードのとき、再生を停止します。

V MP3モードボタン [MP3 MODE]

MP3ディスクとUSBフラッシュメモリー/SDカードの再生中にこのボタンにタッチすると、再生中のフォルダー情報、ファイル情報を表示します。

W シャッフルボタン [≡]

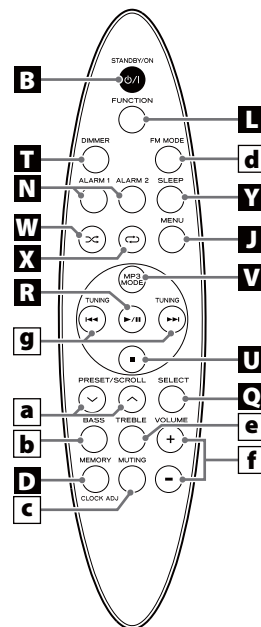
CD/USB/SD/iPodモードのとき、シャッフル再生に使用します。

X リピートボタン [↺]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、リピート再生に使用します。

Y スリープボタン [SLEEP]

スリープタイマーの設定に使用します。



a プリセット/スクロールボタン [へ/へ]

iPodモードでは、メニューのスクロールに使用します。ラジオ受信中に、プリセットした放送局の選択に使用します。

b 低音調節ボタン [BASS]

このボタンを押すと、音量ボタンで低音を調節することができます。

c 消音ボタン [MUTING]

一時的に音を消します。

d FM MODEボタン [FM MODE]

FM放送受信時、ステレオとモノラルを切り換えます。

e 高音調節ボタン [TREBLE]

このボタンを押すと、音量ボタンで高音を調節することができます。

f 音量ボタン [VOLUME]

音量を調節します。

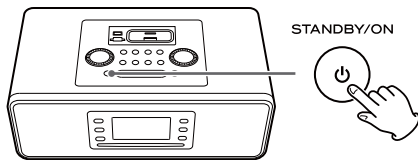
g スキップ/サーチボタン [◀▶]/選局ボタン [TUNING]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、前または後ろの曲にスキップします。再生中に押したまましていると、早送り/早戻しができます。ラジオ受信中は、選局に使用します。

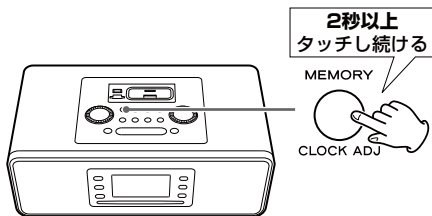
現在時刻の設定

お使いになる前に、現在時刻の設定をしてください。

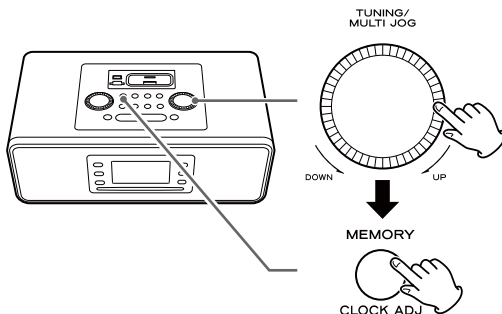
- 1** 本機の電源がオンになっているときは、電源ボタン[STANDBY/ON]を押して本機の電源をスタンバイ(オフ)にする。



- 2** メモリー /時刻合わせボタン[MEMORY/CLOCK ADJ]に「12H(12時間)」または「24H(24時間)」が表示されるまで2秒以上タッチし続ける。

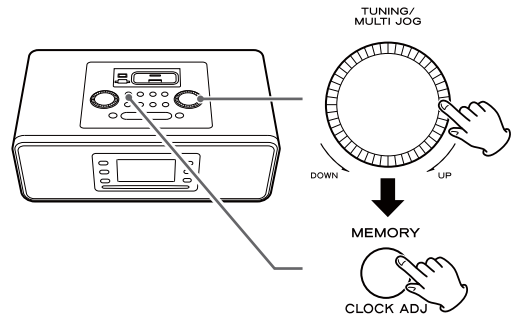


12時間表示と24時間表示を切り換える場合
選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回してからメモリー /時刻合わせボタン[MEMORY/CLOCK ADJ]にタッチしてください。



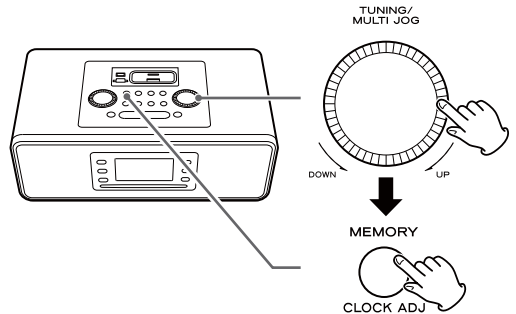
- 8秒以上放置すると、時刻設定モードは解除されます。

- 3** 選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回して「時」を合わせ、メモリー /時刻合わせボタン[MEMORY/CLOCK ADJ]にタッチする。



「分」表示が点滅します。

- 4** **3**の手順を繰り返して、「分」「年」「月」「日」を設定する。

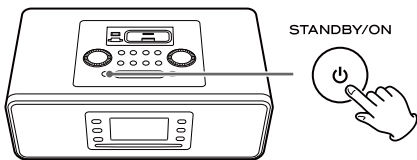


「日」の設定が終わると時刻合わせが終了し、合わせた分の0秒からスタートします。

基本操作

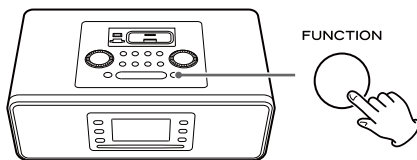
ここでは、どのモードでも共通の操作を説明します。

1 電源ボタン[STANDBY/ON]を押して電源をオンにする。

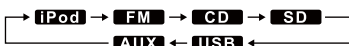


- 最後に選択されていたソースのモードで電源がオンになります。
- 再生中のiPod/iPhoneがドックに差し込まれた場合は、自動的に電源がオンになりiPod/iPhoneの再生を始めます。

2 機能切替ボタン[FUNCTION]を押して、モードを選ぶ。

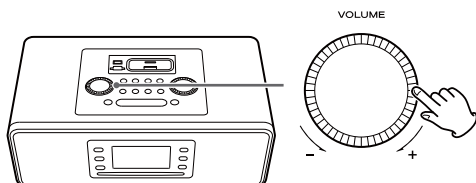


機能切替ボタン[FUNCTION]を押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。



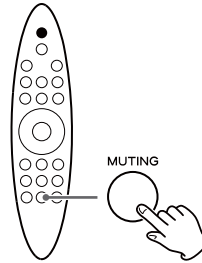
- iPod/iPhoneをセットせずにiPodモードを選択すると、ディスプレイの **iPod** 表示が点滅します。
- 本機の音声入力端子に接続した機器の音声を聴きたいときは、**AUX** を選びます。

3 ソースを再生し、音量つまみ[VOLUME]を回して音量を調節する。



- 音量は最小(00)から最大(40)まで調節できます。

一時的に音を消すには

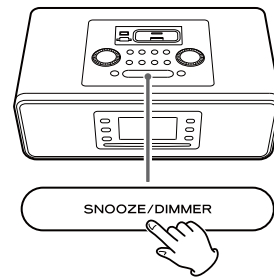


消音ボタン[MUTING]を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中は、「MUTING」が表示されます。
- 消音中に音量を変更したり、モードを切り換えたりすると、消音は解除されます。

ディマー

ディスプレイとボタン表示の明るさを調節します。



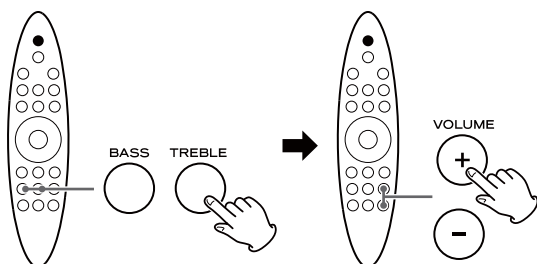
スヌーズ/ディマーボタン[SNOOZE/DIMMER]を押すと、ディスプレイとボタン表示の明るさを4段階に切り換えられます。

- 電源ボタン[STANDBY/ON]を押すと、この設定は解除されます。

基本操作(続き)

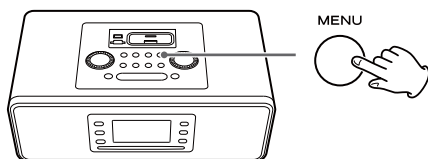
低音または高音を調節するには

低音を調節する場合は低音調節ボタン[BASS]、高音を調節する場合は高音調節ボタン[TREBLE]を押してから、4秒以内に音量ボタン[VOLUME]で調節してください。±4の範囲で調節できます。



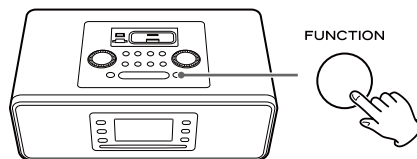
ボタンのタッチ音をオン/オフするには

ボタンにタッチしたときに鳴るタッチ音をオン/オフすることができます。電源がスタンバイ(オフ)のときに、メニューボタン[MENU]に3秒以上タッチし続けます。



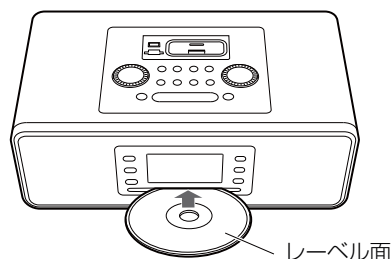
CDを聴くには

- 1 **CD** が表示されるまで機能切換ボタン [FUNCTION] を繰り返し押す。



- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。

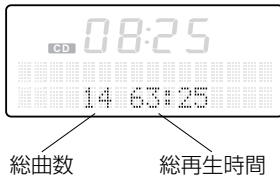
- 2 ディスクのレーベル面を上にして挿入口に入れる。



- 他の機能が選択されているときは、ディスクを挿入すると、自動的にCDモードになり再生が始まります。
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレイに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。
- ディスクが裏返しになっている場合は、「ERR DISC」が数秒間表示されたあとディスクが排出されます。レーベル面を上にして入れ直してください
- ディスクを斜めにして挿入すると、傷をつける原因となる恐れがあります。ディスクはまっすぐ挿入口に入れてください。
- ディスクを強く押し込まないでください。
- 複数のディスクを挿入しないでください。
- ラベルやセロハンテープなどをディスクに貼らないでください。
- 特殊形状のCDは、使用しないでください。

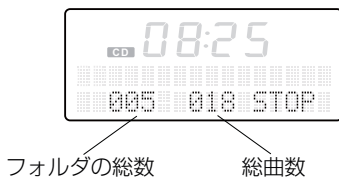
オーディオCD

ディスクの総曲数と総再生時間が表示されます。

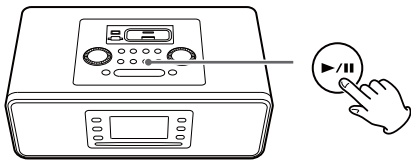


MP3/WMAディスク

ディスクのフォルダとファイルの数が表示されます。



3 再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチする。



1 曲目から再生が始まります。

オーディオCD



現在の曲番 現在の曲の経過時間

MP3/WMAディスク

現在のフォルダ番号



現在の曲のファイル番号 現在の曲の経過時間

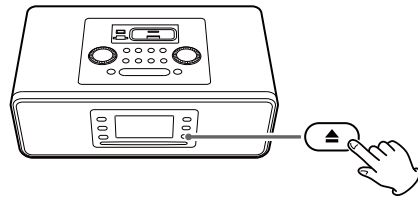
- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルはフォルダ番号「001 (ROOT)」と認識され、1 曲目から再生が始まります。

- すべての曲の再生が終わると、自動的に再生が止まります。

再生中は本体を傾けないでください。ディスクにキズをつけたり、故障の原因となる恐れがあります。

ディスクを取り出すには

取り出しボタン[▲]にタッチしてください。



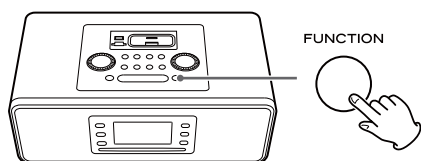
- 排出されたディスクを再び挿入するには、ディスクを完全に引き出してから、再度挿入してください。

USBメモリー /SDカードを再生するには

USBメモリーやSDカードに入ったMP3/WMAファイルを本機で再生することができます。

- 本機は8GBまでのSD(SDHC)カードに対応していません。
- ハードディスクなど大容量のUSB機器は使用できません。

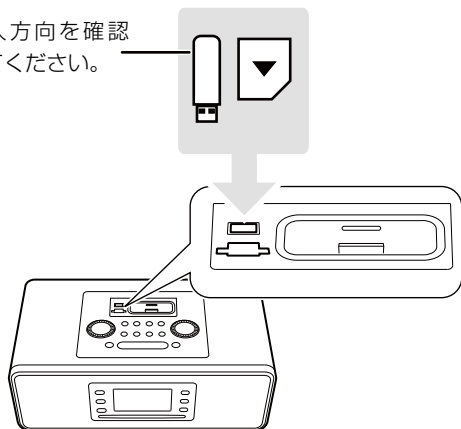
1 USB または SD が表示されるまで機能切替ボタン[FUNCTION]を繰り返し押す。



2 端子カバーを開け、USBメモリー /SDカードをUSB端子/SDカード端子に挿入する。

- SDカードは、本体に表示されている向きで、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

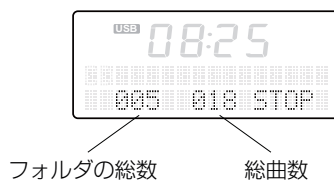
挿入方向を確認してください。



- USBメモリー /SDカードの読み込みには多少時間がかかります。読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレイに総曲数とフォルダの総数が表示されるまでお待ちください。

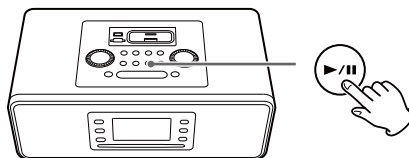
- USBメモリー /SDカードが挿入されているときは、端子カバーを閉じないでください。

USBメモリー /SDカードを読み込んだ場合



3 再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチする。

1曲目から再生が始まります。



現在のフォルダ番号



現在の曲のファイル番号

現在の曲の経過時間

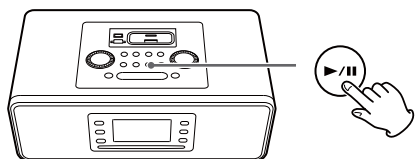
- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルはフォルダ番号「001 (ROOT)」と認識され、1曲目から再生が始まります。
- すべての曲の再生が終わると、自動的に再生が止まります。

その他の基本再生(CD/USB/SD)

再生を一時的に停止するには

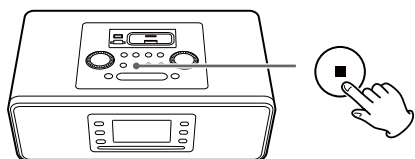
再生中に再生/一時停止ボタン[▶/⏸]にタッチすると、再生が一時的に停止します。

一時停止中に再生/一時停止ボタン[▶/⏸]にタッチすると、一時停止したところから再び再生が始まります。



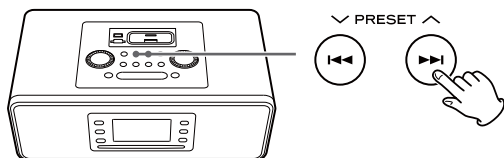
再生を停止するには

停止ボタン[■]にタッチすると再生が停止します。



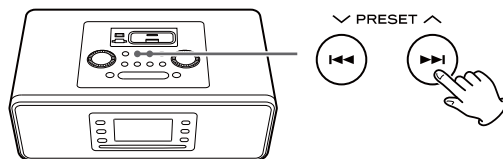
聴きたい部分を探すには

再生中にスキップボタン[◀◀/▶▶]にタッチしたまましていると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

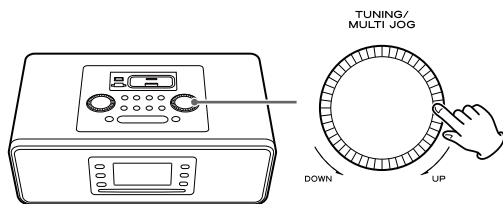


聴きたい曲を探すには

再生中または一時停止中にスキップボタン[◀◀/▶▶]にタッチすると、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、繰り返しタッチしてください。選択された曲の始めから再生を始めます。



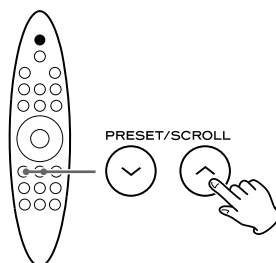
停止中は、選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回すか、スキップボタン[◀◀/▶▶]に繰り返しタッチして希望の曲番を選んだあと、再生/一時停止ボタン[▶/⏸]にタッチすると、再生が始まります。



- 再生中は、◀◀に1回タッチすると再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、続けてタッチしてください。
- プログラム再生中は、プログラム中の次または前の曲が再生されます。

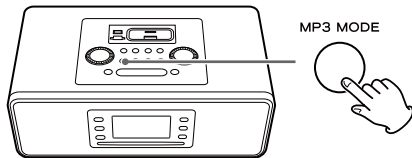
MP3/WMAのフォルダを選ぶには

リモコンのプリセットボタン[∧/∨]を押すと、前または後ろのフォルダにスキップします。

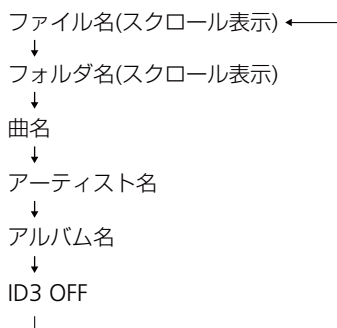


その他の基本再生(CD/USB/SD) (続き)

MP3/WMAのファイル情報を表示するには

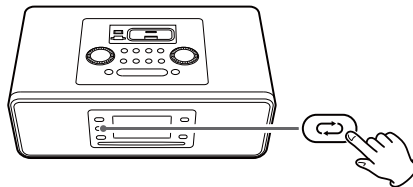


MP3/WMAの再生中にMP3モードボタン[MP3 MODE]にタッチすると、再生中のファイルの情報がディスプレイに以下の順番で表示されます。



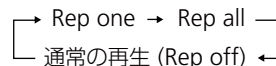
- フォルダ名/ファイル名は頭から15文字、曲名/アーティスト名/アルバム名は頭から30文字が表示されます。
- 本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合は正しく表示できません。

リピート再生(CD/USB/SD)

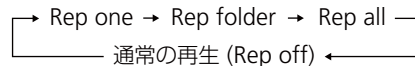


再生中または停止中にリピートボタン[]にタッチするたびにリピート再生のモードは以下のように変わります。

オーディオCDの場合



MP3/WMAディスクまたはUSBメモリー/SDカードの場合



- 以下のボタンを押すと、リピート再生は解除されます。

機能切換[FUNCTION]、ディスク取り出し[▲](CDのときのみ)、電源[STANDBY/ON]

1曲リピート

再生中にリピートボタン[]に1回タッチすると、「Rep one」が表示されます。

再生中の曲を繰り返し再生します。リピート再生中にスキップボタン[]を使って他の曲を選ぶと、その曲を繰り返し再生します。

停止中は、リピートボタン[]にタッチしてからスキップボタン[]で曲を選び、再生/一時停止ボタン[]にタッチすると、1曲リピート再生を始めます。

全曲リピート

再生中にリピートボタン[]に2回タッチ(MP3/WMAのときは3回)すると、「Rep all」が表示されます。

ディスクまたはUSBメモリー/SDカードの全曲を繰り返し再生します。

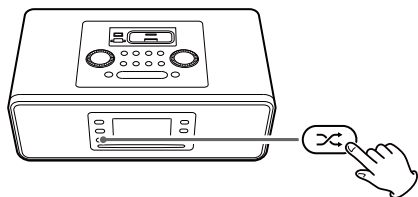
プログラム再生中は、プログラムした曲だけを繰り返し再生します。


フォルダリピート(MP3/WMAのみ)



再生中にリピートボタン[]に2回タッチすると、「Rep folder」が表示されます。

そのフォルダの全曲を繰り返し再生します。

シャッフル再生(CD/USB/SD)

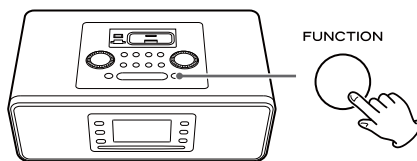


再生中または停止中にシャッフルボタン[]にタッチすると、「Shuffle」とディスプレイに表示され、すべての曲がランダムに再生されます。

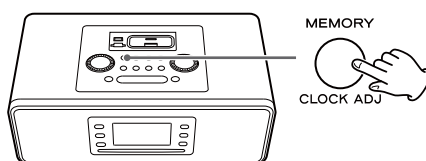
- シャッフル再生中に▶▶にタッチすると、次の曲がランダムに選ばれます。◀◀にタッチしたときは、再生中の曲が最初から再生されます。
- シャッフル再生を解除するには、シャッフルボタン[]にタッチしてください。
- シャッフル再生を停止するには、停止ボタン[]にタッチしてください。

プログラム再生(CD/USB/SD)

- 1 機能切換ボタン[FUNCTION]を繰り返し押し、**CD**、**USB** または **SD** を選ぶ。



- 2 メモリーボタン[MEMORY]にタッチする。



オーディオCD




プログラム番号

MP3/WMA



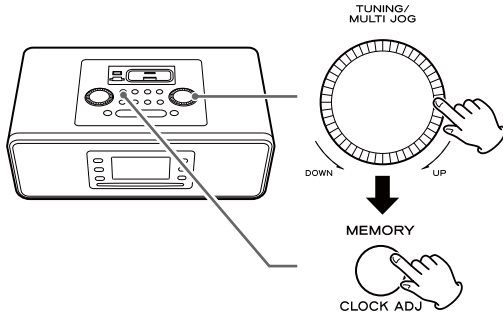
プログラム番号

「Mem」が点滅します。

- プログラムを中止したいときは、停止ボタン[]にタッチしてください。

プログラム再生(CD/USB/SD) (続き)

- 3** スキップボタン[◀◀/▶▶]または選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を使ってフォルダ番号を選び、メモリーボタン[MEMORY]にタッチする。

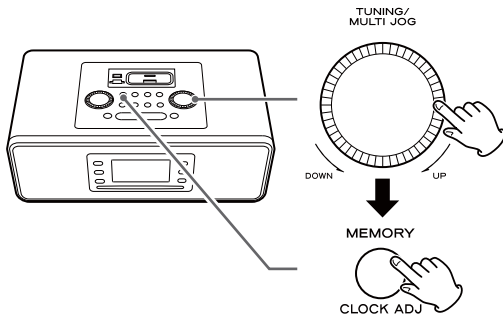


MP3/WMA



- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルは、フォルダ番号「001 (ROOT)」と認識されます。
- オーディオCDの場合は、この手順は関係ありませんので**4**に進んでください。

- 4** スキップボタン[◀◀/▶▶]または選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を使ってプログラムする曲番を選び、メモリーボタン[MEMORY]にタッチする。



オーディオCD



MP3/WMA

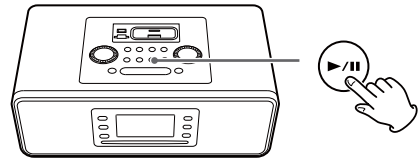


選んだ曲がプログラムされ、次のプログラム番号(P-02またはP-002)が表示されます。

- 複数の曲をプログラムするときは、**3**～**4**を繰り返してください。
- 32曲までプログラムできます。

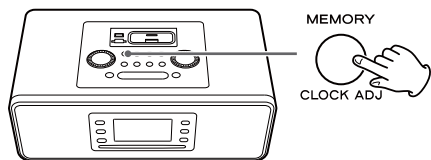
- 5** プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチする。

プログラム再生が始まります。



- プログラム再生の終了後、または停止ボタン[■]にタッチしてプログラム再生を停止すると、「Mem」が消灯してプログラムモードが解除されます。プログラムした内容はメモリーに残っていますので、メモリーボタン[MEMORY]にタッチしてから再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチすれば、再びプログラム再生することができます。ただし、以下の場合はプログラム内容が消去されます。
 - ・ ディスクを取り出す/USBメモリーまたはSDカードを取り外したとき
 - ・ 電源コードを抜いたとき
- プログラム再生中は、シャッフル再生を選ぶことはできません。

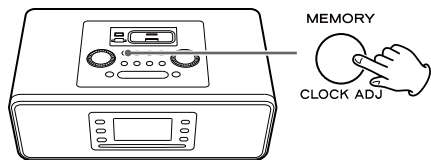
プログラムした内容を確認するには



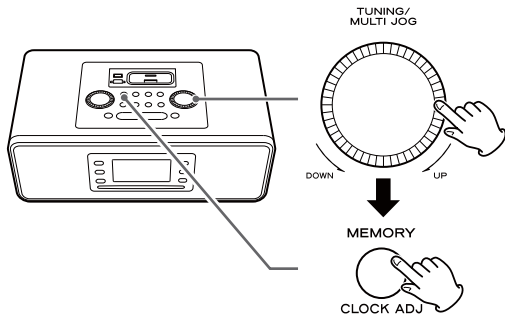
停止中にメモリーボタン[MEMORY]に繰り返しタッチすると、プログラムされた曲番とプログラム番号が順番に表示されます。

プログラムを修正するには

- 1 停止中にメモリーボタン[MEMORY]に繰り返しタッチして、修正したいプログラム番号を表示させる。



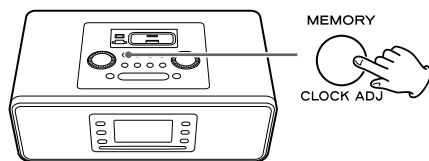
- 2 スキップボタン[◀◀/▶▶]または本体の選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]で新しい曲番を選び、もう一度メモリーボタン[MEMORY]にタッチする。



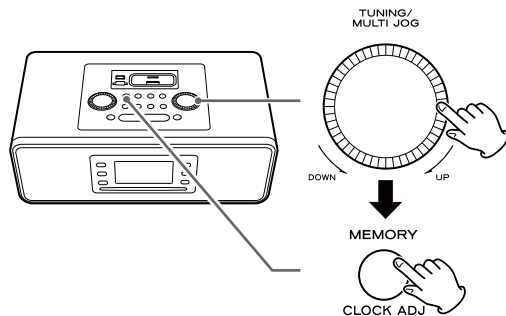
プログラムが上書きされます。

プログラムの最後に曲を追加するには

- 1 停止中にディスプレイに「00」か「000」が表示されるまでメモリーボタン[MEMORY]に繰り返しタッチする。



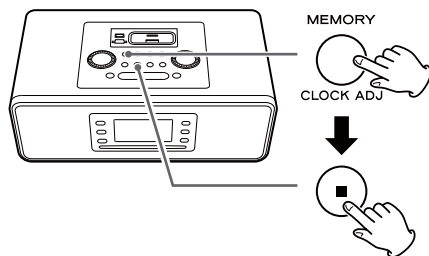
- 2 スキップボタン[◀◀/▶▶]または本体の選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]で追加する曲番を選び、もう一度メモリーボタン[MEMORY]にタッチする。



プログラムの最後に曲が追加されます。

プログラムの内容を消去するには

停止中にメモリーボタン[MEMORY]にタッチしてから停止ボタン[■]にタッチすると、プログラム内容は消去されます。

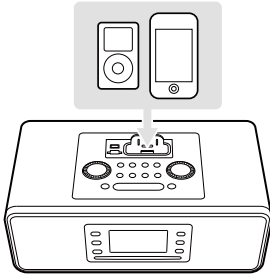


- 以下の場合もプログラム内容が消去されます。
 - ・ ディスクを取り出す/USBメモリーまたはSDカードを取り外したとき
 - ・ 電源コードを抜いたとき

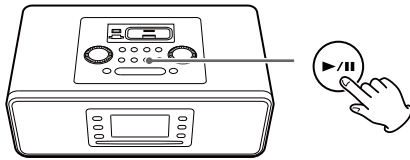
iPod/iPhoneを聴くには

9ページの「本機でiPod/iPhoneを使うには」をお読みください。

1 ドックにiPod/iPhoneを差し込む。



2 iPod/iPhoneの再生/一時停止ボタン[▶/||]を押すか、本機の再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチする。



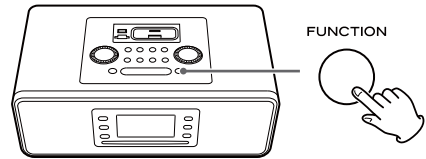
電源がオンになり、iPod/iPhoneの再生が始まります。

- 本機のドックにiPod/iPhoneをセットすると、本機の電源プラグが電源に接続されている間は常にiPod/iPhoneを充電します。
- iPod/iPhoneにヘッドホンが差し込まれている場合、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が出ます。

iPod touch/iPhoneについてのご注意

iPod touch/iPhoneのビデオの音声を聴きたい場合は、まずiPod touch/iPhoneを本機のドックに接続したあと、iPod touch/iPhoneのビデオ再生を選んでください。

iPodモードにするには

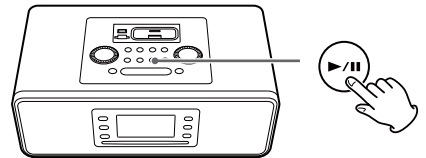


iPod が表示されるまで、機能切換ボタン[FUNCTION]を繰り返し押します。

再生中のiPod/iPhoneがドックに差し込まれた場合は、自動的に電源がオンになりiPod/iPhoneの再生が始まります。

iPod/iPhoneがドックに差し込まれていないときは、ディスプレイに **iPod** が点滅します。

再生を一時停止するには

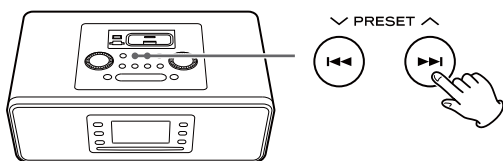


再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチすると再生が一時停止します。

一時停止中に再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチすると、再び再生を始めます。

- iPod/iPhoneの再生/一時停止ボタン[▶/||]、またはリモコンの再生/一時停止ボタン[▶/||]でも一時停止できます。

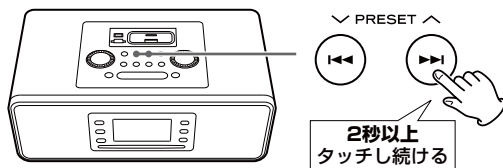
聴きたい曲を探すには



再生中にスキップボタン[⏮️/⏭️]にタッチすると、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けてタッチしてください。選択された曲の始めから再生を始めます。

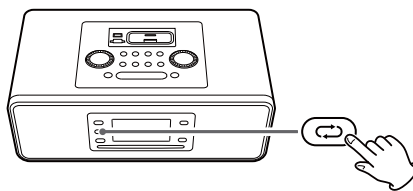
- 再生中は、⏮️に1回タッチすると再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮️を続けてタッチしてください。ただし、再生中の曲の始めの2秒以内に⏮️に1回タッチした場合は、1つ前の曲の始めに戻ります。

聴きたい部分を探すには

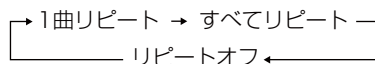


再生中にスキップボタン[⏮️/⏭️]にタッチしたまましていると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

リピート再生

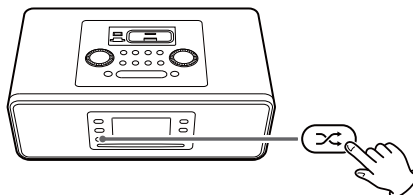


リピートボタン[🔄]にタッチするたびに、以下のよう*iPod/iPhone*のリピートのモードが切り替わります。

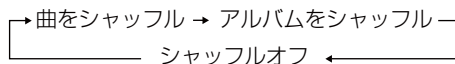


1曲リピートにしたときには、*iPod/iPhone*のディスプレイに(🔄)が表示されます。すべてリピートにしたときには、*iPod/iPhone*のディスプレイに(🔄)が表示されます。

シャッフル再生



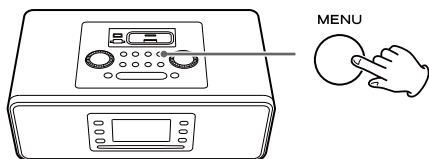
シャッフルボタン[🎲]にタッチするたびに、*iPod/iPhone*のシャッフルのモードが以下のように切り替わります。



シャッフルをオンにしたときには、*iPod/iPhone*のディスプレイに(🎲)が表示されます。

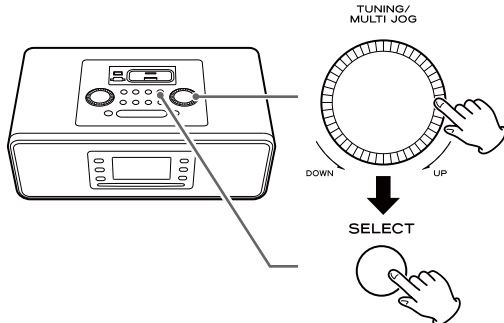
iPod/iPhoneを聴くには(続き)

前のメニューに戻るには



メニューボタン[MENU]にタッチすると、ひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶには



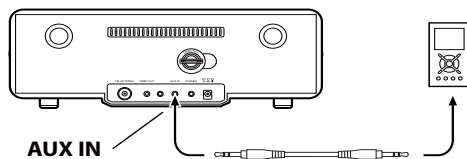
選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回してからセレクトボタン[SELECT]にタッチしてください。または、リモコンのスクロールボタンの上下[∧/∨]を使って項目を選び、セレクトボタン[SELECT]を押して選んでください。

接続した機器の音を聴くには

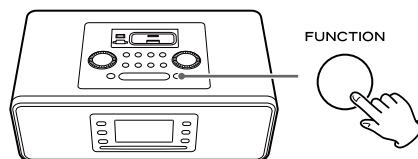
携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と接続して、本機で音声を再生します。

- お使いのiPod/iPhoneにドックコネクタがない場合や、適切なドックアダプターがない場合は、この方法でiPod/iPhoneをお聴きください。

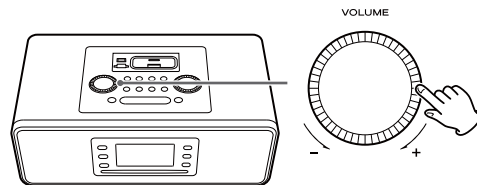
- 1** 本機の音声入力端子[AUX IN]と、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)を、付属のステレオミニプラグケーブルで接続する。



- 2** **AUX** が表示されるまで機能切換ボタン[FUNCTION]を繰り返し押す。



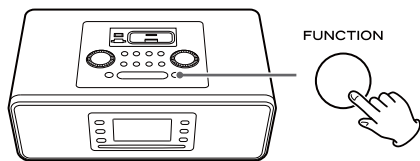
- 3** 接続した機器で再生を始めて、音量つまみ[VOLUME]を回して音量を調節する。



- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴えないことがあります。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

FMラジオを聴くには

- 1** **FM** が表示されるまで機能切換ボタン [FUNCTION] を繰り返し押す。



- FMのステレオ放送を受信すると、ディスプレイの「ST」インジケーターが点灯します。

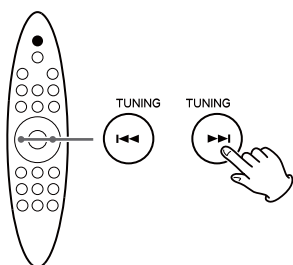
- 2** 選局する。

自動選局

リモコンのスキップボタン(◀◀または▶▶)を押して、ディスプレイの周波数表示が変わり始めたら指をはなしてください。

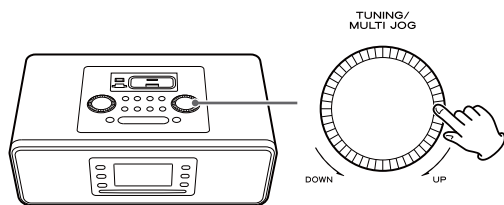
自動的に放送局を受信して周波数表示が止まります。聴きたい放送局を受信するまで、上記の手順を繰り返します。

- 中断したい場合は、スキップボタンを短く押してください。



- 自動選局によって受信した放送局はモノラルで受信されます。ステレオ放送で受信したい場合は、リモコンのFMモードボタン[FM MODE]を押してステレオで受信してください。

マニュアル選局

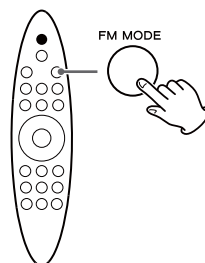


自動選局できない局を受信したい場合は、選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回して聴きたい放送局を選びます。

- リモコンのチューニングボタン[TUNING]も同じように使えます。
チューニングボタン[TUNING]を軽く押すと、周波数は一定のステップで変わります。聴きたい放送局が受信されるまで繰り返し押してください。

FMモード

FMモードボタン[FM MODE]を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り替わります。



Stereo(ステレオ) :

FMステレオ放送をステレオで受信します。FMステレオ放送の受信中はディスプレイに「ST」インジケーターが表示されます。

- 受信状態が悪い場合は、Mono(モノラル)で受信してください。

Mono(モノラル) :

FM放送をモノラルで受信します。FM放送の受信状態が悪いときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

受信状態が悪いときは

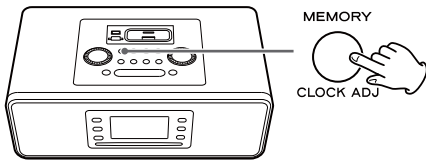
受信状態が悪いときは、FMアンテナの向きを変えて、最も良く受信できる位置を探してください。

放送局のプリセット

よく聴く局を、30局まであらかじめ登録(プリセット)しておくことができます。

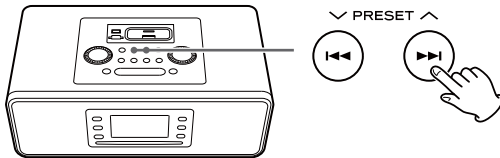
1 登録する放送局を受信する。(前のページ)

2 メモリーボタン[MEMORY]にタッチする。



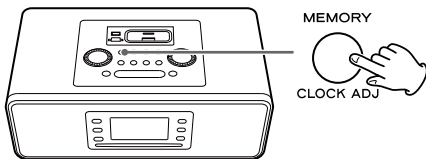
プリセット番号が点滅します。

3 プリセットボタン[\wedge / \vee]にタッチして、放送局を登録したいプリセット番号を選ぶ。



● リモコンのプリセットボタン[\wedge / \vee]も同じように使えます。

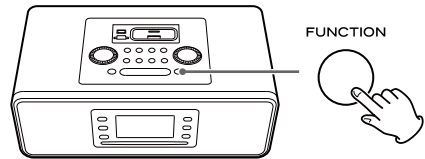
4 メモリーボタン[MEMORY]にタッチする。



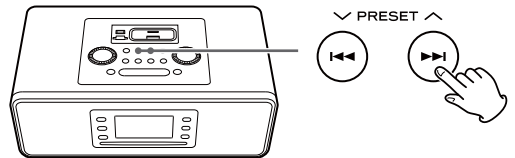
他の放送局をさらにプリセットするときは、**1** から **3** を繰り返します。

登録した放送局を聴くには

1 機能切換ボタン[FUNCTION]を繰り返し押し、**FM** を選ぶ。



2 プリセットボタン[\wedge / \vee]にタッチして、登録した放送局を選ぶ。



● リモコンのプリセットボタン[\wedge / \vee]も同じように使えます。

目覚ましタイマー

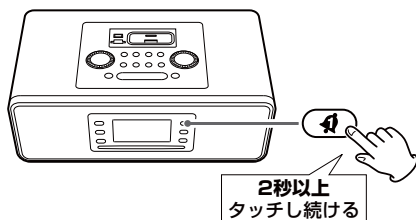
指定された時間に自動的に電源をオン/オフさせることができます。
アラーム1とアラーム2でそれぞれ2つの違う時間を設定できます。

- タイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(14ページ)
- 選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]の代わりに、リモコンのスキップボタン[◀◀/▶▶]も同じように使えます。

設定のしかた

アラーム1ボタン[🔔]を使う場合の説明です。アラーム2ボタン[🔔]も同様に使えます。

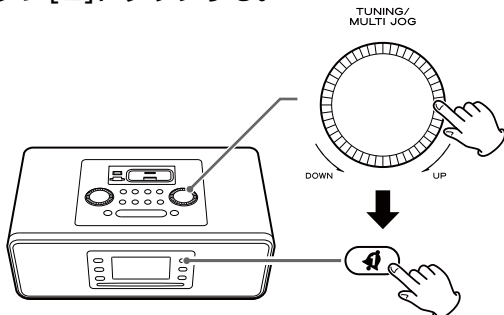
- 1** アラームボタン[🔔]に2秒以上タッチし続ける。



ON TIMEが表示され、タイマーインジケータ (🔔) とタイマー開始時刻の「時」表示が点滅します。

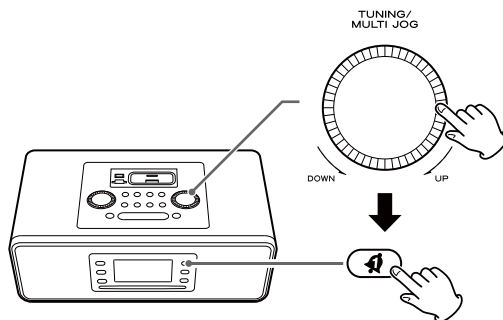
- 10秒以上放置すると、目覚ましタイマー設定モードは解除されます。

- 2** 選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回して開始時刻(時)を選び、アラームボタン[🔔]にタッチする。



タイマー開始時刻の「分」表示が点滅します。

- 3** 選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回して開始時刻(分)を選び、アラームボタン[🔔]にタッチする。

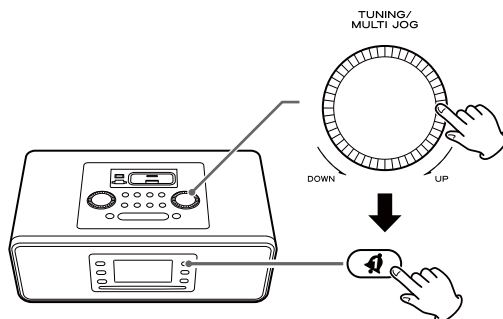


OFF TIMEが表示され、タイマー終了時刻の「時」表示が点滅します。

- 4** 2と3を繰り返して、終了時刻を設定する。

終了時刻が設定され、「SOURCE」が表示されます。

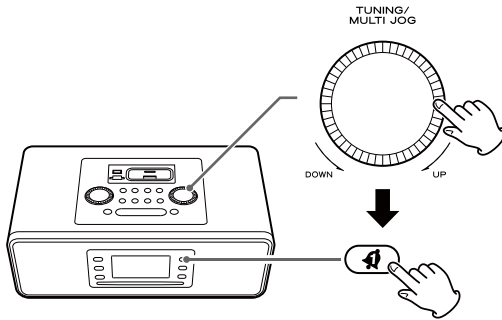
- 5** 選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回してソース(iPod、TUNER、CD、SD、USB)またはBUZZERを選び、アラームボタン[🔔]にタッチする。



- 「AUX」は設定できません。
- 電子音を鳴らすように設定するには、「BUZZER」を選んでください。

目覚ましタイマー (続き)

6 選局/設定つまみ[TUNING/MULTI JOG]を回して音量を調節し、アラームボタン[4]にタッチする。



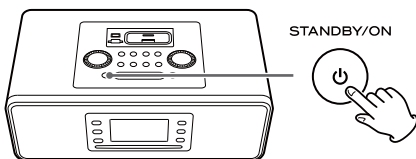
- 音量は10から最大(40)の間で調節できます。
- 「BUZZER」を選んだ場合、音量を調節することはできません。

目覚ましタイマーの設定が終了し、タイマーインジケータ(4)が点滅から点灯に変わります。

7 再生ソースを準備する。

iPodを選んだ場合は、iPodをセットしてください。
CDを選んだ場合は、ディスクをセットしてください。
USBを選んだ場合は、USBフラッシュメモリーをセットしてください。
SDを選んだ場合は、SDカードをセットしてください。
TUNERを選んだ場合は、放送局を受信してください。

8 電源ボタン[STANDBY/ON]を押してスタンバイ状態にする。



本機の電源をスタンバイ(オフ)にしないとタイマーは働きません。

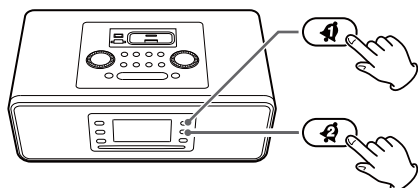
- 電子音を除くタイマー動作時の音量は、小さい音で始まり、徐々に大きくなって6で設定した音量になります。
- 再生ソースに「TUNER」を選んだ場合、電源を切る前に受信していた放送局を受信します。
- 以下の場合、本機は電源を切る前に受信していた放送局を受信します。
 - ・ 再生ソースでiPodを選んだのにタイマーの開始時刻にiPod/iPhoneがセットされていなかった場合
 - ・ 再生ソースでCDを選んだのにディスクがセットされていなかった場合
 - ・ 再生ソースでUSBを選んだのにUSBフラッシュメモリーがセットされていなかった場合
 - ・ 再生ソースでSDを選んだのにSDカードがセットされていなかった場合

本機の目覚ましタイマーでiPod touch/iPhoneを使用する場合

- iPod touch/iPhoneで「電源をオフ」にすると、本機のドックにiPod touch/iPhoneを接続しても目覚ましタイマーでオンにできません。目覚ましタイマーでiPod touch/iPhoneを使用する場合は、iPod touch/iPhoneの「電源をオフ」にしないでください。(画面のオフなどは問題ありません)
- iPod touch/iPhoneでビデオが表示されているときは、本機のドックにiPod/iPhoneを接続しても目覚ましタイマーを使用することはできません。目覚ましタイマーの再生ソースをiPod/iPhoneに設定したときは、ビデオ以外の項目を選択してください。

タイマーをオン/オフしたり設定を確認するには

アラーム1ボタン[**A**]またはアラーム2ボタン[**B**]に繰り返しタッチすると、目覚ましタイマー機能をオン/オフしたり、設定を確認することができます。



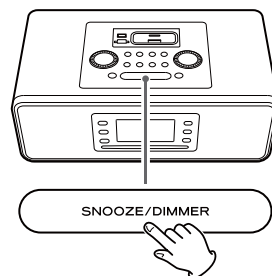
タイマーがオンになり
開始時刻を表示
↓
タイマー終了時刻を表示
↓
タイマーオフ

タイマーが設定されているときは、2回タッチすると再生ソースと音量が表示されます。

タイマーをオフにすると、タイマーインジケータ (**A**) または (**B**) が消灯します。

スヌーズ機能

目覚ましタイマーで設定した時間になって電源がオン状態になった後、スヌーズ機能を使うことができます。



スヌーズ/ディマーボタン[SNOOZE/DIMMER]を押すと、電源を6分間スタンバイ(オフ)状態(電子音、またはタイマー再生の停止状態)になります。

この機能は繰り返し最長60分まで使えます。

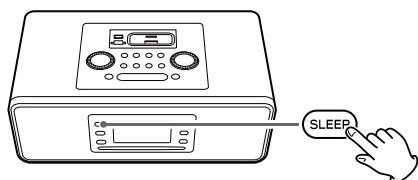
- スヌーズ/ディマーボタン[SNOOZE/DIMMER]を押してスヌーズ状態になっている間は、以下のボタン以外は使えません。

スヌーズ/ディマーボタン[SNOOZE/DIMMER]、
電源ボタン[STANDBY/ON]

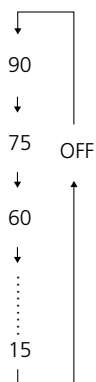
- スヌーズモード中に、タイマーの終了時刻になった場合、スヌーズモードは自動的にキャンセルされ、スタンバイモードになります。

スリープタイマー

一定の時間が過ぎると電源をスタンバイ(オフ)にします。



スリープボタン[SLEEP]に繰り返しタッチします。
以下のように15分間隔で時間が変わります。



- スリープ中は、「Ⓞ」インジケーターが点灯します。
- スリープ中にスリープボタン[SLEEP]に1回タッチすると、電源がスタンバイ(オフ)になるまでの残り時間が数秒間表示されます。
- スリープタイマーをキャンセルさせるには、「OFF」が表示されるまで繰り返しタッチしてください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

一般

電源が入らない。

- ➔ 本機にACアダプターを接続し、ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

音が出ない。

- ➔ 機能切換ボタン[FUNCTION]を押して、ソースを選んでください。
- ➔ 音量を調節してください。
- ➔ ヘッドホンの使用中はスピーカーからは音が出ません。ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ➔ ディスプレーに「MUTING」と表示されている場合は、消音ボタン[MUTING]を押してミュートを解除してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
- ➔ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- ➔ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

雑音がる。

- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

iPod/iPhone

iPod/iPhoneを本体にセットできない。

- ➔ iPodドックに正しいアダプタが取り付けられているか確認してください。
- ➔ 本体のドックコネクタやiPod/iPhoneのコネクタ部分からほこりやゴミを取り除いてください。

再生できない。

- iPod/iPhoneをいったん本体から外し、数秒経ってからもう一度セットしてみてください。
- 最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
<http://www.apple.com/jp/downloads/>

iPod/iPhoneの操作ができない。

- iPod/iPhoneのホールスイッチを解除してください。

CDプレーヤー

再生できない。

- ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音済みのディスクを入れてください。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。また、ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

音飛びがする。

- 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- 傷が付いたディスクは使わないでください。

MP3/WMA

再生できない。

- ファイルのフォーマットを確認してください。
- ファイル名に正しい拡張子が付けられているか確認してください。

タイトル、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

- ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したファイルを作成し直してください。

正しく表示されない文字がある。

- ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレイに正しく表示できません。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

- 放送局を選局してください。
- アンテナの位置や向きを変えてみてください。

目覚ましタイマー

目覚ましタイマーが働かない。

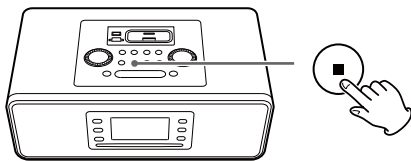
- タイマーを設定した後、電源ボタン[STANDBY/ON]を押してスタンバイ(オフ)にしてください。
- タイマーインジケーター [4]または[4]が消えている場合は、アラーム1ボタン[4]またはアラーム2ボタン[4]で目覚ましタイマーをオンにしてください。
- iPod touch/iPhoneで使用するときには、iPod touch/iPhoneの操作で「電源をオフ」にしないでください。
- iPod touch/iPhoneでは、ビデオ以外を選択してください。

困ったときは(続き)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

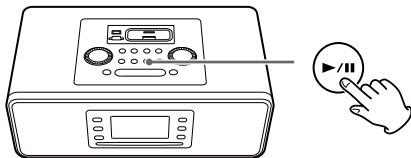
以上の操作をしても正常な動作をしない場合は、下の手順で、初期設定の状態に戻して再度操作してください。

1. スタンバイ(オフ)のときに、停止ボタン[■]に3秒以上タッチし続ける。



ソフトウェアのバージョン情報がスクロール表示されません。

2. ソフトウェアのバージョン情報が表示されている間に、再生/一時停止ボタン[▶/||]にタッチする。



「Please wait・・・」が表示され、初期化が始まります。数秒後に時計の点滅表示(0:00)になり、初期化が完了します。

- この操作を行うと、放送局のプリセットは工場出荷状態にリセットされます。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

! お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

仕様

FMチューナー

受信周波数 76.0MHz ~ 90.0MHz
S/N比 56dB(Mono)
52dB(Stereo)

CDプレーヤー部

周波数特性 20Hz ~ 20kHz ± 1.0dB
S/N比 55dB以上 (1kHz, 0dB, A weight)
全高調波歪率 0.05% (1kHz, 0dB)

USB/SDカード部

周波数特性 20Hz ~ 20kHz ± 1.0dB
S/N比 85dB以上 (1kHz, 0dB, A weight)

スピーカー部

ユニット 60mm × 2
インピーダンス 8 Ω

一般

実用最大出力 5W+5W
ACアダプター電源 100V AC, 50-60Hz
電源 9V DC
消費電力 27W
外形寸法(幅、高さ、奥行) 350 x 125 x 225mm
質量 3.0kg

付属品

リモコン(RC-1253) × 1
リモコン用リチウム電池(CR2025) × 1
本体バックアップ用リチウム電池(CR2032) × 1
ACアダプター(PS-M0930) × 1
ステレオミニプラグケーブル × 1
ミニプラグ⇄ピンプラグビデオケーブル × 1
FMアンテナ × 1
ドックアダプター × 4
取扱説明書(保証書付き)(本書) × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書

この製品の保証書は、本書の裏表紙に記載されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有していません。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

32ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：iPod/iPhone対応CD/ハイファイラジオ
SR-3

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



保証書

品名 および 型名	iPod/iPhone対応CD/ハイファイラジオ SR-3	
機番		
保証期間	本体	1年

お買上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	電話 ()

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載の弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	所在地・名称(印)	
	電話 ()	

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合は、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) メンテナンス
 - (7) 本書の提示がない場合
 - (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社サービス部門にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせはAVお客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号が、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。